

週間漁海況情報—第 28 号

平成 25 年 7 月 16 日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

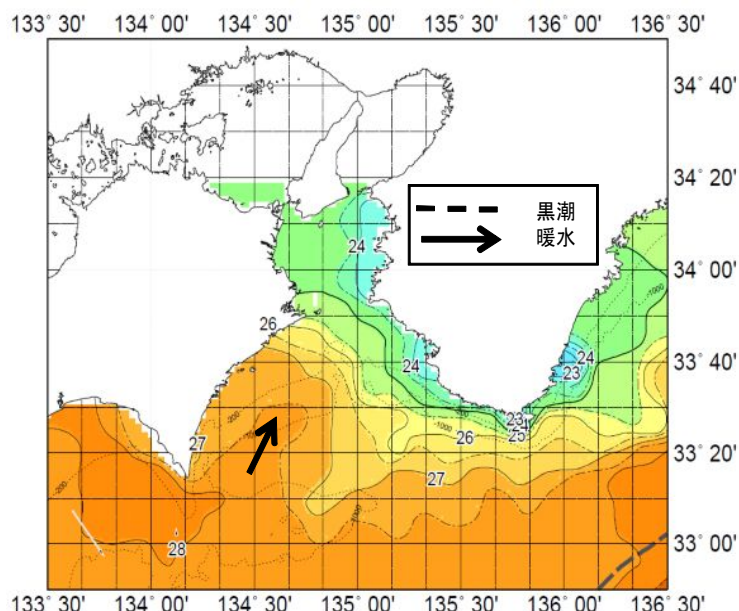
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

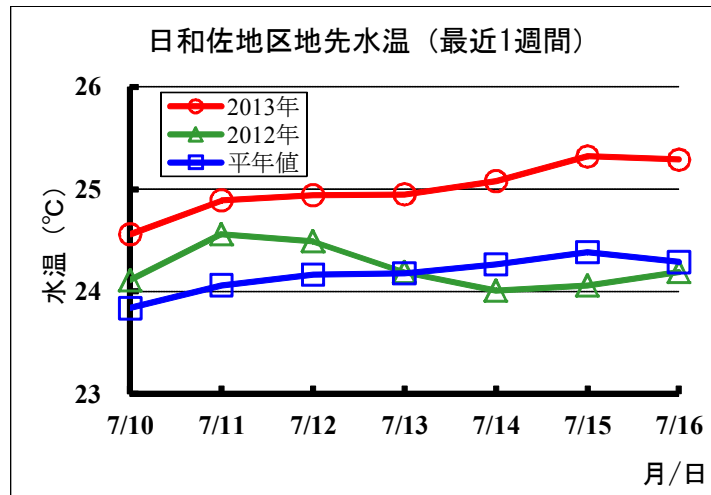
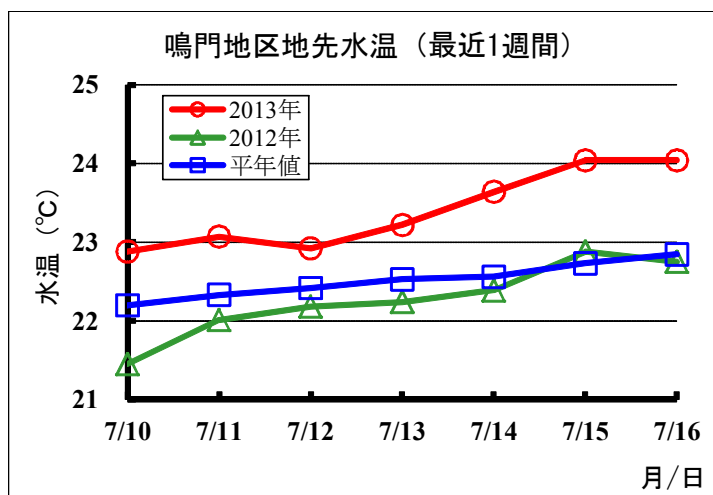
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25. 7. 16）を示した。

黒潮は、室戸岬及び潮岬沖でかなり離岸している。

黒潮本流の表面水温は、28 ～ 29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で 23 ～ 24℃台、紀伊水道で 23 ～ 25℃台、海部沿岸で 25 ～ 27℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬側から暖水流入がある。



地先水温 最近 1 週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の 22.9 ～ 24.0℃、日和佐地区は「やや高め」の 24.6 ～ 25.3℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の 25.3 ～ 26.2℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：± 0.49 以下、やや高め（やや低め）：± 0.50 ～ 1.49、高め（低め）：± 1.50 ～ 2.49、かなり高め（かなり低め）：± 2.50 以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にアカムツが1.2 トン（1 日1 隻あたり27kg）、大・中主体にゴマサバが0.3 トン（同15kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが2.3 トン（同63kg）、マイワシが3.8 トン（同103kg）、ウルメイワシが1.5 トン（同32kg）、小小主体にアカカマスが0.2 トン（同7kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にシイラが0.3 トン（同328kg）水揚げされた。なお、今漁期は7 月8 日に終了した。

釣り：海部沿岸で、大主体にイサキが0.4 トン（同12kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.3 トン（同9kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが78.1 トン（同840kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 7月8日～7月14日

漁業種類別漁業計画表（抜粋）						県下6漁協から聞き取り	
漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	アカムツ	46	1,234	27	大主体	
		ゴマサバ	23	340	15	大・中主体	
小型定置網		マアジ	36	2,269	63	マメ主体	
		マイワシ	37	3,813	103		
		ウルメイワシ	49	1,547	32		
		アカカマス	31	208	7	小小主体	
		大型定置網	シイラ	1	328	328	大主体
釣り	紀伊水道	イサキ	34	423	12	大主体	
		タチウオ	32	277	9	特大主体	
パッチ網		シラス	93	78,120	840		

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7 月9 日～7 月15 日（5 漁協分の集計）には、海部沿岸では、延縄で、中・大主体にアカムツが0.5 トン、大型定置網で、ツバスが0.2 トン、マルソウダが0.2 トン（7 月10 日に漁期終了）、紀伊水道では、釣りで、特大主体にタチウオが0.5 トン、パッチ網で、シラスが31.0 トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「かなり離岸」～「やや離岸」、潮岬沖において、「かなり離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の24℃台、日和佐地先で「やや高め」の25～26℃台で推移する見込み。